

令和4年度第1回佐伯市食育推進会議 会議の抄録

1 開催日時

令和4年5月16日（月）14時00分から16時00分まで

2 開催場所

佐伯市中村南町1番1号
佐伯市役所 6階 第二委員会室

3 出席者等

出席委員19名、欠席委員3名（全委員数22名）

事務局

観光ブランド推進部 部長 古田 智
ブランド推進課 課長 戸高 真一、総括主幹 尾形 繁子、
副主幹 高次 秀爾、事務員 釘宮 沙也香

傍聴者 0人

~~~~~

1 開会 開会あいさつ（課長）

委員委嘱状交付

2 会長・副会長選出

互選により、会長に河野委員、副会長に染矢委員を選出

3 諮問 部長から会長へ計画改訂についての諮問文書を提出

4 議事の主な内容

会長が議長となり議事進行

事務局から、佐伯市食育事業のこれまでについて、食育推進計画改訂についての経緯や改訂のスケジュール案と必要な手続き等について、追加すべき内容等の例、計画期間について、食育を所管する課について、令和4年度関連実施事業等について等の説明を行った。

【委員から出された主な意見】

- ・5年前前はコロナもなく、SDGsもまだあまり聞いていなかった。時代の変化が早い。
- ・弁当の日や食品ロスやSDGsや、それぞれの取り組みが繋がっている。
- ・例えば学校の残渣を土に返すなど、SDGsにつながる活動を推進してはどうか。

- ・実施できるやり方で良いので、食育の市民アンケートを取って欲しい。
- ・食育に興味がある人のみではなく、市民一人ひとりが当事者意識を持ってほしい。
- ・貧困家庭に目を向け、子ども食堂の取り組みや食品ロスを連携できたら良い。
- ・計画策定も大事だが、計画策定後の周知や啓発も大切。
- ・自炊できる力や生活能力をつけることが、自立など、様々な問題の解決に繋がる。
- ・魚食普及や郷土料理の伝承など、難しく考えず、取り組みやすい方法で推進しては。
- ・これまで食育活動を活発に行ってきた。オーガニック憲章やロゴマーク制定なども。
- ・高齢者男性でも、できることを楽しみながら継続して活動している。
- ・食に対する感謝だとか、基本的なことが一番大事なのでは。人間形成にも繋がる。
- ・共食の機会を増やすことは大事。食育推進会議でもそういった場を持ち実践したい。

事務局から、追加意見の提出がある場合は5月末頃までに提出を依頼し、閉会。